

上尾市子ども・子育て支援事業計画
量の見込みと確保方策進捗状況
(令和 6 年度)

上 尾 市

目次

1	量の見込みと確保方策	1
2	教育・保育の量の見込み及び確保方策等	2
3	地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び確保方策等	
	（1）利用者支援事業	5
	（2）地域子育て支援拠点事業	7
	（3）妊婦健康診査	8
	（4）乳児家庭全戸訪問事業	
	（こんにちは赤ちゃん事業）	9
	（5）養育支援訪問事業	10
	（6）子育て短期支援事業（ショートステイ）	11
	（7）ファミリー・サポート・センター事業	12
	（8）一時預かり事業	13
	（9）延長保育事業（時間外保育事業）	14
	（10）病児・病後児保育事業	15
	（11）放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）	16
	（12）実費徴収に係る補足給付を行う事業	17
	（13）多様な事業者の参入促進・能力活用事業	17

1 量の見込みと確保方策

量の見込みについて

市内に居住する0～5歳の子どもについて、現在の幼稚園、保育所（園）、認定こども園の利用状況に利用希望を加味し、令和2年度から令和6年度までの学校教育・保育の量の見込みを設定します。また、国の定める以下の3つの区分ごとに見込み量を設定します。

●●○認定区分と提供施設

認定区分	年齢	認定要件	提供施設
1号	3～5歳	幼児期の学校教育のみ	幼稚園、認定こども園
2号	3～5歳	保育の必要性あり	保育所（園）、認定こども園
3号	0～2歳	保育の必要性あり	保育所（園）、認定こども園、地域型保育事業

提供体制の確保の内容及びその実施時期

市は、設定した「量の見込み」に対応するよう、「確保方策（教育・保育施設及び地域型保育事業による確保の内容及び実施時期）」を設定し、必要な教育・保育施設及び地域型保育事業を整備します。

- ①教育・保育施設
- ②地域型保育事業
- ③地域子ども・子育て支援事業

幼児期の学校教育・保育の一体的提供及び推進体制の確保の内容

認定こども園の設置数やあり方、設置時期と普及に係る考え方、質の高い幼児期の学校教育・保育、地域の子育て支援の役割及び推進方策、幼保小連携の取組の推進、0～2歳に係る取組と3～5歳に係る取組の連携に関することなどについては、第2期上尾市子ども・子育て支援事業計画書第4章の関連する施策・事業において示した内容を推進します。

上尾市における地域子ども・子育て支援事業進捗状況の評価基準

評価	評価基準
A	各年度の確保実績が量の見込みを達成できている
B	各年度の確保実績が量の見込みを達成できていないが利用実績（実施実績）は達成できている
C	各年度の確保実績が量の見込みを達成できていないかつ利用実績（実施実績）も達成できていない

2 教育・保育の量の見込み及び確保方策等

【提供施設】

教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園 ・ 認定こども園（幼稚園機能）
保育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所（園） ・ 認定こども園（保育所機能） ・ 地域型保育事業 （小規模保育事業、家庭的保育事業、居宅訪問型保育事業、事業所内保育事業）

【提供対象者】

教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1号認定の子ども（満3歳以上の教育のみ（保育の必要性なし）の就学前子ども） <p>※2号認定を受けた子どもでも、幼稚園の利用を希望する場合は1号認定へ変更可</p>
保育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2号認定の子ども（満3歳以上の保育の必要性の認定を受けた就学前子ども） ・ 3号認定の子ども（満3歳未満の保育の必要性の認定を受けた就学前子ども） <p>※地域型保育給付は3号認定のみ</p>

【事業内容】

教育	満3歳から小学校就学前までの子どもを預かり、年齢にふさわしい適切な環境の中で教育を提供します。1日4時間を標準に預かります。
保育	保護者が働いているなどの理由により、日中の保育が必要で2号、3号認定を受けた子どもを預かり、保育を行います。

【確保方策の内容】

見込み量に対して、幼稚園については、定員数が量の見込みを上回っています。保育所（園）については、認可保育所（園）の整備や認定こども園への移行を中心とし、増加が予想される0・1・2歳児のニーズに対しては、認可保育所（園）での受け入れ枠の拡大及び地域型保育事業による対応を図ります。

【計画と実績】

教育・保育事業の量の見込みと実績

<計画>

(単位:人)

		令和2年度				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
		1号	2号	3号		1号	2号	3号		1号	2号	3号		1号	2号	3号		1号	2号	3号	
		3-5歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	3-5歳	0歳	1-2歳
		教育	保育	保育	保育	教育	保育	保育	保育	教育	保育	保育	保育	教育	保育	保育	保育	教育	保育	保育	保育
①量の見込み		3,762	2,049	265	1,398	3,594	2,077	272	1,426	3,413	2,089	279	1,458	3,281	2,125	323	1,465	3,200	2,190	321	1,455
②確保の方策	特定教育・保育施設 (認定こども園、幼稚園、 保育所)	584	2,017	257	988	830	2,089	269	1,024	830	2,017	265	1,005	830	2,113	287	1,062	830	2,170	289	1,083
	特定地域型 保育事業			77	322			77	322			77	322			77	322			80	338
	認可外保育施設		19	7	20		19	7	20		19	7	20		19	7	20		19	7	20
	確認を受けない 幼稚園	3,939				3,693				3,693				3,693				3,693			
	市外施設利用	12	28	3	13	12	28	3	13	12	28	3	13	12	28	3	13	12	28	3	14
	計	4,535	2,064	344	1,343	4,535	2,136	356	1,379	4,535	2,064	352	1,360	4,535	2,160	374	1,417	4,535	2,217	379	1,455
②-①		773	15	79	-55	941	59	84	-47	1,122	-25	73	-98	1,254	35	51	-48	1,335	27	58	0

<実績>

(単位:人)

		令和2年度				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
		1号	2号	3号		1号	2号	3号		1号	2号	3号		1号	2号	3号		1号	2号	3号	
		3-5歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	3-5歳	0歳	1-2歳
		教育	保育	保育	保育	教育	保育	保育	保育	教育	保育	保育	保育	教育	保育	保育	保育	教育	保育	保育	保育
実績の量		3,435	2,115	344	1,417	3,279	2,090	317	1,387	3,261	2,086	322	1,445	3,272	2,158	355	1,501	2,624	2,289	304	1,687
実績の内容	特定教育・保育施設 (認定こども園、幼稚園、 保育所)	353	2,037	256	1,053	345	1,976	243	1,053	318	1,995	245	1,088	425	2,065	266	1,146	347	2,220	251	1,255
	特定地域型 保育事業			77	329			64	280			72	303			72	312			45	396
	認可外保育施設		52	1	6		42	1	10		33	0	2		0	2	13		24	1	3
	確認を受けない 幼稚園	2,981				2,831				2,818				2,730				2,219			
	市外施設利用	101	26	10	29	103	72	9	44	125	58	5	52	117	93	15	30	58	45	7	33
	計	3,435	2,115	344	1,417	3,279	2,090	317	1,387	3,261	2,086	322	1,445	3,272	2,158	355	1,501	2,624	2,289	304	1,687

3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び確保方策等

(1) 利用者支援事業

【事業内容】

就学前児童及び就学児童とその保護者又は妊婦に対し、教育・保育・保健その他の子育て支援を適切に選択し、円滑に利用することができるよう、情報集約や提供などによる支援を行います。また、利用者からの相談に応じて関係機関との連絡調整を行います。

【提供量の見込み及び確保方策】

(単位：か所)

			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市全体	基本型	①量の見込み	3	3	3	4	4
		②確保方策	3	3	3	4	4
	母子保健型	①量の見込み	2	2	2	2	2
		②確保方策	2	2	2	2	2

【確保方策の内容】

市の子ども家庭総合支援センター、保育課、健康増進課において、多様化する子育て支援サービスの情報提供及び必要に応じた相談・助言が適切に行えるようにします。

【実績】

			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市全体	基本型 特定型	①量の見込み	3	3	3	4	4
		②確保実績	4	4	4	4	2
		③実施実績	4	4	4	4	2
	②-①		1	1	1	0	-2
	②-③		0	0	0	0	0
	母子保健型 ※R6 からこども 家庭センター型	①量の見込み	2	2	2	2	2
		②確保実績	2	2	2	2	2
		③実施実績	2	2	2	2	2
	②-①		0	0	0	0	0
	②-③		0	0	0	0	0

※令和6年度より母子保健型がこども家庭センター型に変更されたことにより、基本型と母子保健型を兼ねていた2か所(こども家庭総合支援センター・東保健センター)がこども家庭センター型のみでカウントされています(サービス内容に変更なし)。

基本型、特定型【評価】B

母子保健型【評価】A

【5年間の総括】

（基本型）

健康増進課・子ども家庭総合支援センター・子育て支援センターにおいて、子育て全般に関する相談に対応しました。また、子育て支援センターでは訪問型子育て支援事業を行っており、育児不安や悩みがある家庭に保育士が訪問し、相談対応などのサポートをしています。令和6年度からは、母子保健と児童福祉の一体的な相談支援を行うことも家庭センターの開設に伴い、基本型の利用者支援事業は子育て支援センターのみとなりましたが、引き続き関係機関と連携し、個別の状況に応じた支援に努めてまいります。

（特定型）

窓口や電話で保育を希望する保護者のご相談に乗り、情報提供を行いました。今後も子育て支援に関する情報を集め、相談者のニーズに応じたきめ細やかな情報を提供していきます。

（母子保健型）

母子健康手帳交付時から母子保健コーディネーターがすべての妊婦に対し面接を行い、また、妊娠34週を目途に電話連絡を行い妊娠の経過、出産準備、産後の支援等について確認を行いました。産後は助産師、保健師による産婦・新生児訪問を実施し、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を実施しました。引き続き、妊娠・出産、子育て期までの切れ目ない伴走型相談支援を行っていきます。

（２）地域子育て支援拠点事業

【事業内容】

乳幼児とその保護者を対象に、親子の居場所確保や子育ての支援を行うため、交流の場の提供、子育てに関する相談や援助、情報提供、講習等を行います。

【提供量の見込み及び確保方策】

（単位：人回/月）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市全体	①量の見込み	3,985	4,036	4,088	2,031	2,351
	②確保方策	13 か所	13 か所	13 か所	13 か所	13 か所

【確保方策の内容】

ニーズの増加に対しては現状の施設（おおむね中学校区に1か所で全13か所）で対応が可能であり、地域の子育て支援の拠点として相談・支援を行えるよう体制強化を図ります。

【実績】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市全体	①量の見込み	3,985	4,036	4,088	2,031	2,351
	②確保実績	1,116	1,582	2,268	2,990	3,168
	③利用実績	1,116	1,582	2,268	2,990	3,168
②－①		-2,869	-2,454	-1,820	959	817
②－③		0	0	0	0	0

【評価】A

【5年間の総括】

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度までは量の見込みを大幅に下回っていましたが、利用者数は毎年増加し、令和5年度以降は中間年の見直しにより再設定した量の見込みを上回ることができました。また、令和6年度は出張ひろばを1か所開設し、計14か所で事業を実施することができました。

今後も利用者数は増加が見込まれるため、各地域子育て支援拠点と連携しながら、交流・相談・支援の場を充実させていきます。

（３）妊婦健康診査

【事業内容】

妊婦に対して、母子健康手帳交付時に妊婦健康診査助成券を交付します。14 回分の妊婦健康診査（妊婦健康診査助成券に記載された検査項目のみ対象）の費用を一部助成します。

【提供量の見込み及び確保方策】

（単位：人）

		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
市全体	①量の見込み	1,506	1,501	1,492	1,483	1,474
	②確保方策	市内外の産科医療機関、助産院にて実施				

【確保方策の内容】

市が委託している市内外の産科医療機関（埼玉県内のほとんどの医療機関）、助産院と連携し、適正な受診に努めます。契約医療機関以外で受けた方については、妊婦健康診査費用の一部を助成します。

【実績】

		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
市全体	①量の見込み	1,506	1,501	1,492	1,483	1,474
	②確保実績	1,432	1,412	1,441	1,383	1,336
	③利用実績	1,432	1,412	1,441	1,383	1,336
②－①		-74	-89	-51	-100	-138
②－③		0	0	0	0	0

【評価】 B

【5年間の総括】

母子健康手帳交付時には、母子保健コーディネーターより妊婦健康診査の重要性を説明し、助成券の交付を行いました。母子健康手帳の交付数の減に伴い、受診数が減少していますが、健診受診率は横ばいで推移しています。引き続き産科医療機関および助産院と連携を図り、適正な受診の促進に努めていきます。

（４）乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）

【事業内容】

生後４か月までの乳児がいる家庭に、こんにちは赤ちゃん訪問員が訪問し、乳児に関することなど母親の相談に応じたり、子育て支援サービスの情報提供などを行います。

【提供量の見込み及び確保方策】

（単位：人）

		令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
市全体	①量の見込み	1,341	1,337	1,333	1,325	1,317
	②確保方策	こんにちは赤ちゃん訪問員による家庭訪問を実施				

【確保方策の内容】

こんにちは赤ちゃん訪問員による家庭訪問を実施し、面会率の向上を図るとともに、保健師が相談に対応し必要な支援につなげるなど継続的な支援に努めます。

【実績】

		令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
市全体	①量の見込み	1,341	1,337	1,333	1,325	1,317
	②確保実績	1,213	1,217	1,275	1,357	1,384
	③利用実績	1,213	1,217	1,275	1,357	1,384
②－①		-128	-120	-58	32	67
②－③		0	0	0	0	0

【評価】 A

【５年間の総括】

前年度に引き続き、出産・子育て応援事業に伴う訪問件数の増加、面会率の向上が続いています。子育て支援サービスの情報提供や育児に関する母親の相談に応じ、早期に支援が必要な家庭を把握し支援につなげ、子育ての孤立防止に努めていきます。

（５）養育支援訪問事業

【事業内容】

産後うつ病、育児ノイローゼ等の問題によって子育てに対して不安や孤立感等を抱える家庭や虐待の恐れのある家庭等、養育支援が特に必要な家庭に保健師や保育士等が訪問し、家庭の抱える養育上の諸問題の解決、軽減を図ります。

【提供量の見込み及び確保方策】

（単位：人）

		令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
市全体	①量の見込み	13	13	13	13	13
	②確保方策	保健師等による訪問を実施				

【確保方策の内容】

保健師等による訪問を実施するとともに、関係機関との連携を強化し、支援内容の充実を図ります。量の見込みについては、妊娠期からの支援を充実し、支援が必要となる子どもを増やさない方向で推進します。

【実績】

		令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
市全体	①量の見込み	13	13	13	13	13
	②確保実績	4	7	7	9	8
	③利用実績	4	7	7	9	8
②－①		-9	-6	-6	-4	-5
②－③		0	0	0	0	0

【評価】Ｂ

【５年間の総括】

核家族化に伴い、出産後間もない時期の養育者に対する育児不安の解消、養育技術の提供等のための相談及び支援を行いました。

令和６年度からは、当該事業で実施していた家事・養育に係る援助について、『子育て世帯訪問支援事業』に移行し実施しております。引き続き、対象家庭からの相談や関係部署及び関係機関からの情報提供等による養育状況の把握に努め、家庭の状況に応じて適切な支援を提供できるよう努めてまいります。

（６）子育て短期支援事業（ショートステイ）

【事業内容】

保護者が疾病・疲労など身体上・精神上・仕事や冠婚葬祭などの理由により子どもの養育が困難となった場合等に、児童養護施設など保護を適切に行うことができる施設において養育を行います。

【提供量の見込み及び確保方策】

（単位：人日/年）

		令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
市全体	①量の見込み	20	20	20	19	19
	②確保方策	20	20	20	19	19
	②－①	0	0	0	0	0

【確保方策の内容】

市内及び近隣市町の施設と協力し、利用しやすい体制を整備します。

【実績】

		令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
市全体	①量の見込み	20	20	20	19	19
	②確保実績	8	6	10	18	50
	③利用実績	8	6	10	18	50
②－①		-12	-14	-10	-1	31
②－③		0	0	0	0	0

【評価】 A

【５年間の総括】

保護者の入院及び出産、育児疲れの理由で利用があり、前年度より実績が伸びました。また、利用に関する相談や、制度に関する問い合わせについても、前年度より増加しました。また、トワイライトステイ事業（夜間の預かり、土日の日中預かり）については、５日間の利用がありました。

引き続き、問い合わせや相談があった際には、養育状況等の聞き取りを丁寧に行い、ニーズに応じた支援に努めてまいります。

(7) ファミリー・サポート・センター事業

【事業内容】

生後4か月から小学生までの子どもがいる家庭に対し、「あげおファミリー・サポート・センター（上尾市社会福祉協議会）」において、育児の援助を受けたい方（依頼会員）と育児の援助を行いたい方（提供会員）が会員登録をし、提供会員が依頼会員に対して子どもの預かり等、育児の手助けを行います。

【提供量の見込み及び確保方策】

（単位：人日/年）

			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市全体	①量の見込み	就学児童	1,742	1,904	2,080	1,171	1,160
		就学前児童	1,708	1,867	2,040	810	807
		計	3,450	3,771	4,120	1,981	1,967
	②確保方策		3,450	3,771	4,120	1,981	1,967
	②－①		0	0	0	0	0

【確保方策の内容】

量の見込みに対応したサービスの提供を図るため、提供会員又は両方会員（依頼会員と提供会員の両方への登録者）の確保に努め、事業についての周知を図ります。

【実績】

			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市全体	①量の見込み	就学児童	1,742	1,904	2,080	1,171	1,160
		就学前児童	1,708	1,867	2,040	810	807
		計	3,450	3,771	4,120	1,981	1,967
	②確保実績		1,872	2,428	1,898	2,304	2,217
	③利用実績	就学児童	713	1,478	1,421	1,514	1,378
		就学前児童	1,159	950	477	790	839
		計	1,872	2,428	1,898	2,304	2,217
	②－①		-1,578	-1,343	-2,222	323	250
	②－③		0	0	0	0	0

【評価】 A

【5年間の総括】

利用件数は年度によって増減がありますが、概ね横ばいの状況となっています。令和6年度からは急な依頼や病児・病後児にも対応可能な緊急サポートセンターを設置し、支援の幅が広がりました。利用ニーズに迅速に対応するため、引き続き提供会員の確保を図っていきます。

(8) 一時預かり事業

【事業内容】

家庭において一時的に保育を受けることが困難となった乳幼児を、主として昼間において、幼稚園、保育所(園)、認定こども園等の児童関係施設において、一時的な預かりを行います。

【提供量の見込み及び確保方策】

(単位：人日/年)

			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市全体	幼稚園	①量の見込み	4,952	5,051	5,152	3,378	3,446
		②確保方策	4,952	5,051	5,152	3,378	3,446
		②－①	0	0	0	0	0
	幼稚園以外	①量の見込み	9,083	9,583	9,583	9,583	9,583
		②確保方策	9,083	9,583	9,583	9,583	9,583
		②－①	0	0	0	0	0

【確保方策の内容】

ニーズの見込みに対しては既存施設で対応するとともに、実情に応じて既存施設での定員拡大や新たな施設での実施に取り組みます。

【実績】

			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市全体	幼稚園	①量の見込み	4,952	5,051	5,152	3,378	3,446
		②確保実績	1,958	3,311	3,045	3,642	3,463
		③利用実績	1,958	3,311	3,045	3,642	3,463
	②－①		-2,994	-1,740	-2,107	264	17
	②－③		0	0	0	0	0
	幼稚園以外	①量の見込み	9,083	9,583	9,583	9,583	9,583
		②確保実績	3,448	6,152	5,520	5,646	5,646
		③利用実績	3,448	6,152	5,520	5,646	5,646
	②－①		-5,635	-3,431	-4,063	-4,394	-3,937
	②－③		0	0	0	0	0

幼稚園【評価】A

幼稚園以外【評価】B

【5年間の総括】

家庭での保育が一時的に困難なケースや多様な働き方が増えており、需要はあると考えます。今後の動向把握が難しいですが、既存施設での定員拡大や新たな施設での実施に引き続き取り組みます。

（９）延長保育事業（時間外保育事業）

【事業内容】

保育所（園）を利用している児童とその保護者を対象に、就労時間の延長などにより通常の保育時間を超える保育が必要な場合、保育所（園）での保育時間を延長して児童の預かりを行います。

【提供量の見込み及び確保方策】

（単位：人）

		令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
市全体	①量の見込み	2,264	2,303	2,334	2,364	2,402
	②確保方策	2,264	2,303	2,334	2,364	2,402
	②－①	0	0	0	0	0

【確保方策の内容】

保護者の延長保育のニーズに対応するとともに、新設の保育所（園）等における延長保育の実施の推進に努めます。

【実績】

		令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
市全体	①量の見込み	2,264	2,303	2,334	2,364	2,402
	②確保実績	2,428	2,649	2,323	2,485	2,271
	③利用実績	2,428	2,649	2,323	2,485	2,271
②－①		164	346	-11	121	-131
②－③		0	0	0	0	0

【評価】Ｂ

【５年間総括】

多様な働き方が増えてきているため、引き続き保護者ニーズに対応できるよう努めるとともに、今後新しく開所予定の園についても延長保育の実施を行っていきます。

（10）病児・病後児保育事業

【事業内容】

子どもが病気又は病気回復期のため、集団保育等が困難な時期に一時的に預かり、病院や保育所等に付設された保育室において看護師・保育士等が、保護者にかわり看護・保育を行います。

【提供量の見込み及び確保方策】

（単位：人日/年）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市全体	①量の見込み	1,113	1,134	1,155	1,179	1,210
	②確保方策	1,113	1,134	1,155	1,179	1,210
	②－①	0	0	0	0	0

【確保方策の内容】

子どもの病気等の急変等による緊急対応に備えるため、市内4か所の保育室において実施します。市内の施設のバランスに配慮し、新たな施設の整備についても検討します。また、病児・病後児保育の利用のしかたについて、保護者への周知を図ります。

【実績】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市全体	①量の見込み	1,113	1,134	1,155	1,179	1,210
	②確保実績	209	521	793	1,146	957
	③利用実績	209	521	793	1,146	957
②－①		-904	-613	-362	-33	-253
②－③		0	0	0	0	0

【評価】B

【5年間の総括】

子どもの病気等の急変等による緊急対応に備えるために施設維持は必要と考えます。今後も施設数を維持できるよう施設と協力し、引き続きニーズを把握しつつ、今後の動向について注視していきます。

（１１）放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

【事業内容】

親が共働きである世帯など、留守が多い世帯の小学生を対象に、放課後に適切な遊びや生活の場を与え、子どもの健全育成を図ります。

【提供量の見込み及び確保方策】

（単位：人）

			令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
市全体	①量の見込み	１年生	577	611	637	654	657
		２年生	510	541	572	597	612
		３年生	436	445	472	499	521
		４年生	294	295	294	303	312
		５年生	165	165	166	165	170
		６年生	85	87	87	87	87
		計	2,067	2,144	2,228	2,305	2,359
	②確保方策		2,347	2,347	2,347	2,347	2,387
	②－①		280	203	119	42	28

【確保方策の内容】

令和元年１０月１日現在、市内３８か所（４２クラス）において実施し、見込み量に対する提供体制は確保されていますが、各学校区について毎年ニーズを把握し、足りていない小学校区に対しては必要な施設整備を進めます。

【実績】

			令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
市全体	①量の見込み	１年生	577	611	637	654	657
		２年生	510	541	572	597	612
		３年生	436	445	472	499	521
		４年生	294	295	294	303	312
		５年生	165	165	166	165	170
		６年生	85	87	87	87	87
		計	2,067	2,144	2,228	2,305	2,359
	②確保実績 ※		2,409	2,441	2,474	2,474	2,586
	③利用実績		2,046	2,122	2,317	2,442	2,690
②－①			342	297	246	169	227
②－③			363	319	157	32	-104

※確保実績の数値は、施設面積を一人当たりの面積基準で割り返して算出した人数です。利用実績が上回った部分については分散保育により対応しています。

【評価】 A

【５年間の総括】

増加しつつある学童利用者に対応するため保育面積の確保に努めました。各学校区の利用状況等を把握して引き続き整備を進めます。

(12) 実費徴収に係る補足給付を行う事業

【提供対象者】

教育・保育事業利用者のうち、一定の所得条件を満たす世帯

【事業内容】

特定教育・保育施設等に対して保護者が支払うべき日用品、文房具その他の教育・保育に必要な物品の購入に要する費用又は行事への参加に要する費用について、一部又は全額を助成します。

【評価】

—

【5年間の総括】

今後も継続して実施していきます。

(13) 多様な事業者の参入促進・能力活用事業

【提供対象者】

教育・保育事業を提供する事業所、幼児教育・保育の無償化の給付の対象とならない施設のうち、一定の要件を満たす施設を利用する満3歳以上の幼児のいる世帯

【事業内容】

民間事業者の参入促進、多様な事業者の能力活用といった観点から効果が高いと考えられる事業を実施します。

また、無償化の対象外で一定の要件を満たす施設に幼児を通園させており、小学校就学前の子どもを対象とした多様な集団活動事業を利用する幼児の保護者に対し、経済的負担軽減を図るため、利用料の一部を補助します。

【評価】

—

【5年間の総括】

特定教育・保育施設等への民間事業者の参入に関する相談や支援を行っています。また、小規模保育事業に関しても個別協議等により民間事業者等の参加を可能とするとともに、新規参入事業者に対し連携し施設の紹介なども行って参ります。